

2015年(平成27年)6月16日(火曜日)

冬に札幌でフォーラム

増毛山道の知名度向上へ

留萌振興局は、27年度の独自事業として「留萌管内完全再生達成記念」増毛山道普及拡大事業」に取り組む。増毛町終点までの復元が今年度で完了することから、冬に札幌市で記念フォーラムを開催し、増毛山道の知名度向上を図る。

増毛山道は、江戸時代末期に開削された全長27・8キロの山道。近年は笹に埋もれて利用されていなかったが、振興局とNPO法人増毛山道の会(伊達東会長)が22年度に増毛町別荘一岩尾間の約16キロを復元した。23年度からは体験トレッキングを実施。歴史を感じ、景観を楽しみながら歩くことができるとため、管内外の登山者やトレッキング愛好者の人気を集めている。

現在は、増毛町側は石狩市との境界である雄冬山(1197メートル)山頂から0・4キロの区間が残っており、9月に実施する新コースでの体験トレッキングまで完了する。

同事業は、より多くの人に増毛山道を知ってもらい、石狩市側の復元をサポートしてくれる人材の発掘や体験トレッキング参加者の増加を目的として実施。フォーラムの具体的な内容についてはまだ決まっていないものの、留萌振興局の職員や山道の会の役員が増毛山道の自然や歴史などの魅力を広く来場者に周知する予定だ。

所管の留萌振興局環境生活課では「増毛山道の素晴らしさを伝えられるようなフォーラムを開催し、ともに活動してくれる仲間を増やしていきたい」と話している。

(原田学)

増毛山道は、江戸時代末期に開削された全長27・8キロの山道。近年は笹に埋もれて利用されていなかったが、振興局とNPO法人増毛山道の会(伊達東会長)が22年度に増毛町別荘一岩尾間の約16キロを復元した。23年度からは体験トレッキングを実施。歴史を感じ、景観を楽しみながら歩くこ